

診療報酬改定に伴うお知らせ

厚生労働省は2023年4~12月の時限的特例措置として、マイナ保険証の普及や医薬品の安定供給を目的に、診療報酬や調剤報酬を臨時改定しました。これに伴い、患者さまの一部負担額が変わりますので、あらかじめご了承ください。

負担が変わるもの

1 紙の保険証 マイナンバーカードを健康保険証として利用できる保険医療機関で、従来の「紙の健康保険証」を使った場合、初診・再診ともに負担が増えます。

※当院はマイナンバーカードを利用できる保険医療機関に登録されています(歯科は準備中)。マイナ保険証を利用するための登録機械はクリニック1階総合受付にあります。



※マイナ保険証を利用する場合も、自治体独自の医療費助成等については、これまでどおり資格証等の持参が必要です。

2 医薬品安定供給に係る各種加算

全国的に医薬品の供給が不安定な状況が続いています。そのため、医薬品の安定供給に係る各種加算(一般名処方加算、後発医薬品使用体制加算、外来後発医薬品使用体制加算、地域支援体制加算)が上がります。



当院では、医薬品の供給が不足した場合も、代替薬を含めた在庫確保に努め、必要に応じて先発医薬品の使用や処方変更、治療計画の見直しを行うなど、患者さまに適切な薬物治療を提供できるよう、十分な対応が取れる体制を整えています。負担額が変わる場合がありますが、ご理解願います。

FAST 勉強会を開催



改正児童虐待防止法・改正児童福祉法が2020年4月施行され、虐待予防の取り組みが進んでいますが、痛ましい虐待の報道は後を絶ちません。

子どもの安全を守り、健やかな成長を支えるため医療現場で何ができる



のか、子ども虐待について学ぶ機会を設けようと、鴨川市立国保病院院長で一般社団法人日本子ども虐待防止学会の常務理事も務める小橋孝介先生を講師にお招きし、3月8日(水)、当院Family Support Team (FAST) による職員向け勉強会がKタワー13階ホールにて企画・開催されました。

医師や看護師、リハビリセラピスト、医療ソーシャルワーカーなど子どもの診療に携わる多職種スタッフや、グループ内の認定子ども園や保育所のスタッフ、看護学校の教員など51人が参加し、子ども虐待について理解を深めました。

路線バスダイヤ改正

長狭線・金谷線

日東交通株式会社では、4月1日より鴨川駅東口発着の路線バス「長狭線・金谷線」のダイヤを改正しました。通院で路線バスをご利用の方は日東交通のホームページ等で時刻表をご確認ください。



【改正内容】

- ・長狭線 … 1往復減便・一部時刻変更
- ・金谷線 … 一部時刻変更

bayfm「MEDICAL UPDATES」

FM ラジオ局ベイエフエムの午後のワイド番組『it!! (イット)』では、毎週火曜日の午後3時から、当院のスタッフが出演する「MEDICAL UPDATES」のコーナーが好評放送中です。

4月は亀田京橋クリニックから消化器内科部長で健康管理センター長の新浪千加子医師が出演します。ぜひお聴きください。



第7話 慢性腎臓病(CKD)の治療(後編)

皆様こんにちは。腎臓高血圧内科の川地惇朗と申します。今回はあまり知られていない腎臓の大切な働きと、その治療についてご紹介したいと思います。

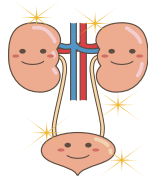
腎臓の機能を表す数値

今や成人の約8人に1人が慢性腎臓病(CKD)といわれており、新たな国民病として啓発されています。腎臓の機能はCr(クレアチニン)と、そこから計算したeGFRという数値で確認できますので、お手元に採血データがある人はぜひ一度ご自身の腎機能をみましょう。慢性腎臓病のステージはeGFRに加えて、尿蛋白が大切ですので、検尿結果も一緒にご覧になってください。

腎臓の隠れた機能

腎臓の働きとして、皆様ご承知の通り、「尿をつくる」という機能があります。しかし、それ以外にも重要な機能がいくつもあるのです。

尿をつくる!



赤血球をつくる!

腎臓は赤血球をつくるために必要な「エリスロポエチン」というホルモンを産生しています。貧血はHb(ヘモグロビン)という数値で確認しますが、貧血が重度になると息切れ、動悸、疲れやすいといった症状が出てくることがあります。

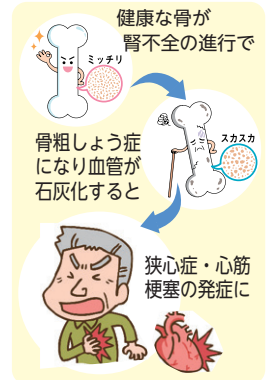
腎不全が進行してくるとエリスロポエチンの産生が低下することで、腎性貧血といわ



れる貧血がみられるようになります。かつては腎性貧血に対する治療は輸血を行うほかありませんでした。しかし、現在では外来で定期的にエリスロポエチン製剤を皮下注射で投与する方法が一般的になっているほか、内服のお薬も近年出てきています。

骨をつくる!

腎臓と骨は密接に関わっています。実際、腎不全が進行してくると骨粗しょう症の割合が増してくることが知られています。原因としては、リンやカルシウムというミネラルのバランス、いくつかのホルモンの関係があります。



腎臓にはビタミンDを活性化する作用もあり、ビタミンDの作用が不足するとカルシウムが低下してきます。カルシウムが低下すると、骨を溶かして血中のカルシウムを増やそうとするホルモンが増えてしまいます。

リンは食品添加物など加工品にたくさん含まれていますが、腎不全があるとリンが体に溜まりやすくなります。溜まってきたリンを頑張って尿から出すホルモンも骨に悪影響を及ぼします。

これらのホルモンの異常は、骨粗しょう症のみならず血管の石灰化を進行させることも知られています。特に心臓を栄養する冠動脈といわれる血管が石灰化することで、狭心症や心筋梗塞などの発症につながります。

食事内容の指導を行い、ビタミンDのお薬、リンを下げるお薬などを用いて、適切なリンとカルシウム、ホルモンのバランスを保つことで、骨粗しょう症の進行や血管石灰化を予防していくことが重要です。

少し難しい話になりましたが、縁の下の力持ち、腎臓の隠れた機能について書かせていただきました。

まずはご自身の採血や検尿の結果を確認してみてください。「eGFRが低い」「尿検査で異常がある」など、何か心配ごとがありましたら腎臓高血圧内科までご相談ください。

医師紹介

やすだ こうや
安田 幸矢 医師



- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言

- ①産婦人科
- ②産婦人科
- ③登山、温泉巡り、写真撮影
- ④誠心誠意診療いたします。



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <https://www.kameda.com>